

南富良野町で考える地域の生活交通のあり方

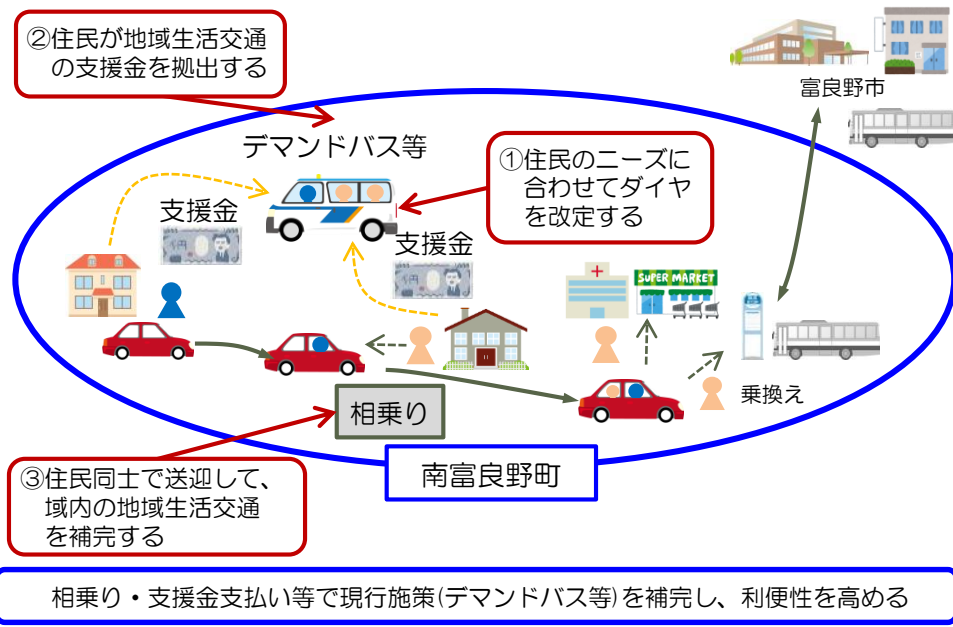
背景

- 人口減少等の著しい南富良野町では、地域生活交通の利用者減少による負のスパイラルにより、交通弱者の移動手段の確保は難しい状況です。
- 住民との協働による地域生活交通を検討する必要があります。

成果

1 住民との協働による地域生活交通の提案

道内全市町村調査と現地へのヒアリング調査から、住民との協働による地域生活交通のあり方を南富良野町で考えると・・・



期待される効果

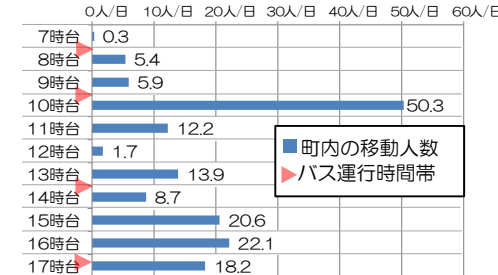
人口減少の著しい地域において、公共負担の少ない地域生活交通の形成が可能になります。



2 地域生活交通の新たな可能性の検討

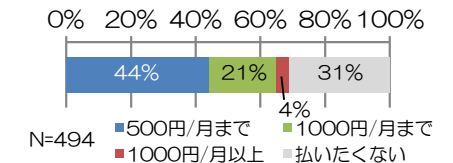
①住民の外出実態を把握

- 町内移動について、住民ニーズに対応できていない時間帯がある



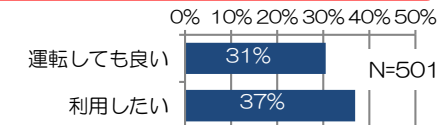
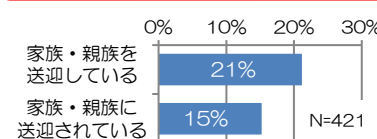
②住民の支援金拠出の可能性を検証

- 地域生活交通の維持のために支援金を拠出する可能性がある



③住民同士で送迎を行う「相乗り」の可能性を検証

- 家族・親族間での送迎が多い
- 住民同士で送迎を行う「相乗り」の導入可能性がある



今後は、南富良野町を対象に、住民との協働による地域生活交通の具体的な提案を行う